取扱説明書

YF-7

ご使用になる前に必ずお読みください

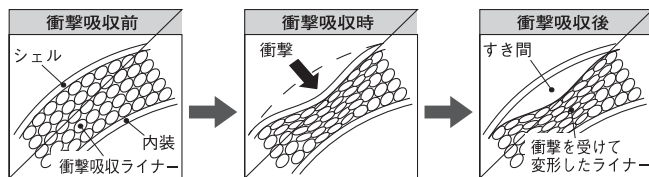
この度は、ヤマハヘルメットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、本製品の正しい取扱方法について説明してあります。ご使用になる前に本書を必ずよくお読みいただき、安全に快適なバイクライフをお楽しみください。また、本製品独自の機能や取扱方法がありますので、ヘルメットの取り扱いに慣れた方も必ずお読みください。
読み終わったあとは、必ず保管してください。

この商品は日本国内の規格に適合しています。

本書では正しい取り扱いに関する事項を下記のシンボルマークで表示しています。

	取り扱いを誤った場合、死亡または重傷及び傷害に至る可能性が想定される場合を示してあります。
注 意	取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される場合を示してあります。
要 点	正しい取扱方法や、作業上のポイントを示してあります。

⚠警 告 ヘルメットの保護能力には限度があります

- ヤマハヘルメットは国の定める安全基準に適合していますが、いかなる事故や転倒に対しても絶対安全ということではありません。ヘルメットは万一の事故や転倒のときに、外部からの衝撃を軽減するものです。
- ヘルメットは購入後3年で交換してください。
  正常に使用しても目に見えない部品の劣化が進み、性能は低下していきます。購入後3年を過ぎたヘルメットは、衝撃を受けたときに性能を充分発揮できない恐れがあります。早めの交換をお勧めします。
- 大きな衝撃を受けたヘルメットは使用しないでください。
  ヘルメットは、シェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで衝撃エネルギーを吸収します。衝撃を受けたあとは、外観上損傷がなくてもライナーが変形している場合があります。変形した場合、再度衝撃を受けたときにエネルギーを吸収できず、重大なけがにつながる恐れがあります。

- 頭のサイズに合ったヘルメットを使用してください。
  大きすぎるヘルメットは、走行中にぐらつくため危険です。また、小さすぎるヘルメットは、頭を締め付けるため痛くなることがあります。

⚠警 告 必ず守っていただきたい注意事項

- 使用前点検を必ず実施してください。
  シールドやサンバイザー、内装、スクリュー等の構成部品が正しく取り付けられていないと、走行中にシールドまたはサンバイザーが外れるなど運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。ベンチレーション・内装・シールド等が確実に固定されているか確認してから使用してください。
- あごひもは緩みがないように長さを調節し、正しく留めてください。
  あごひもの長さが調節されていない、または正しく留められていないと、走行中にヘルメットがずれたり、万一転倒したときにヘルメットが脱げて、頭が保護されず、重大なけがにつながる恐れがあります。
- ワンタッチバックルに異物等が混入した状態で使用しないでください。
- 汚れや傷の付いたシールドやサンバイザーで走行しないでください。
  視野の妨げとなり、大変危険です。汚れている場合は汚れを除去し、傷が付いている場合は交換してください。
- 走行中の環境変化に注意してください。
  突然の雨や急激な温度変化によってシールドまたはサンバイザーがくもり、視界不良で思わぬ事故につながる恐れがあります。環境変化が予測されるときは、走行前にシールドの開度を調節し、速度を落として走行してください。
- ヘルメットを車両のホルダーに付けたまま走行しないでください。
  運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。また、ヘルメットに傷が付く恐れがあります。
- ヘルメットに塗料・接着剤・ガソリン等の溶剤を付けないでください。また、直射日光のあたる車内や、暖房機の近くなど高温になる場所に長時間放置しないでください。
  シェルや衝撃吸収ライナーが変形し、衝撃吸収力が著しく低下する恐れがあります。
- 改造は絶対にしないでください。
  ヘルメットに穴を空けたり、削ったりすると性能が損なわれ、充分に保護能力が発揮できない恐れがあります。

⚠警告 色付きシールド使用上の注意事項

- トンネル及び夜間走行の注意
  スモーク・オレンジ・ミラー加工等を施したシールドでトンネルや夜間を走行するときは、シールドを上げるか標準のシールドに交換してください。視認力の低下を招き、思わぬ事故につながる恐れがあります。

注意 必ず守っていただきたい注意事項

- ヘルメット、シールド及びサンバイザーの清掃は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  熱湯（50℃以上）・塩水・ベンジン・シンナー・ガソリン等を使用すると、ヘルメット、シールドやサンバイザーが損傷する恐れがあります。清掃するときは、薄めた中性洗剤を使用し、柔らかい布でふき取ってください。
- ヘルメットを持ち運ぶときは、外装かあごひもを持ってください。
  内装、シールドやサンバイザーを持つと、ヘルメットが落下する恐れがあります。

注意 ヘルメットボックスに収納するときの注意

ヘルメットボックスにヘルメットを収納するときは、下に押し付けたり中で回転させたりしないでください。部品が外れる恐れがあります。

※ヘルメットに取り付けてある部品は、規格上（JIS規格／SG規格）転倒等の衝撃を受けたときに容易に外れるように、両面テープ等で固定されています。

YAMAHA HELMET 【ご使用になる前に必ずお読みください】

注意 シールド及びサンバイザー取り扱いの注意事項

- 乾いた布でふかないでください。
  シールドやサンバイザーの汚れを取るときは、水で軽く洗い、柔らかい布でふき取って自然乾燥させてください。強くこすると傷が付く恐れがあります。
- 薄めた中性洗剤以外は使用しないでください。
  汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を使って洗い流してください。酸性・アルカリ性系の洗剤及び有機溶剤※1等は絶対に使用しないでください。シールドやサンバイザーの割れ、蒸着メッキ膜のはく離の原因となります。
  ※1：ガソリン・シンナー・ブレーキオイル・市販の撥水剤・くもり止め・ブレーキ等のクリーナー

注意 内装取り扱いの注意事項

- 雨天走行や汗等で内装が汚れたときは、内装を取り外して洗うことができます。内装を洗うときは、中性洗剤を使用し、ぬるま湯でやさしく押し洗いしてください。洗ったあとは真水で充分にすすぎます。洗い上がったら、風通しのよい場所で陰干しします。乾燥させるためにヘアドライヤーなどは使わないでください。

要点 つや消し塗装の汚れの取りかた

薄めた中性洗剤を使用して、洗い流してください。

SGマークはSafe Goods(安全な製品)の略号で、一般財団法人製品安全協会が定めたものです。構造･材質･使いみちなどから見て、生命又は身体に対して危害を与える恐れのある製品について安全性品質に関するSG 基準を定め、この基準に適合していると認められた製品にのみ付けられるマークです。

国は消費生活用製品のうち、構造・材質・使用状況から見て、一般消費者の生命又は身体に対して、特に危害を及ぼす恐れが多いと認められる製品を「特定製品」として指定しております。「特定製品」の製造を行う事業者は国に届け出を行うとともに、国の定める技術水準に適応しているかどうかチェックします。合格した製品には「PSC」マーク（Product Safety＝製品安全の略号を）表示し、「PSC」マークの表示がされていない「特定製品」の販売を禁じる事としています。

乗車用ヘルメットの有効期限は「購入後3年です」

ヘルメットは使用に伴い老朽化・劣化等の経時変化によって新品の時と同じ性能を維持できない事もあります。このためSGマークには、ヘルメットの耐久性を考慮して「購入後3年」との有効期間を定めております。有効期間を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮しない恐れもありますので、充分ご注意ください。又3年以内であっても大きな衝撃を受けたヘルメットや破損・改造したヘルメットも事故の際に充分な保護性能を発揮しない恐れがありますので十分ご注意ください。

一般財団法人製品安全協会/日本安全帽工業会

SGマークの被害者救済制度について

ヘルメットについているSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり一般財団法人製品安全協会の定めるSG 基準に適合していないため着用者がケガをした場合など身体的損害について賠償するものです。但しオートバイを特殊な用途(レース･サーカス等)に用いている際の負傷や、SG基準の定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷等は賠償の対象になりません。

製品の欠陥による事故がおきた場合は

1.製品の欠陥による事故がおきたら、すぐ 一般財団法人製品安全協会へ連絡してください。TEL（03)-5808-3300
2.「事故発生届」又は「賠償措置実地請求書」を提出してください。（原則として事故発生より60日以内）
3.事故の状況を伺うとともに、事故品について精密な点検や試験を行います。
4.以上の調査結果を検討して、賠償するかどうか決定します。

SGマークについてのお問い合わせ先

〒110-0012　東京都台東区竜泉2-20-2　ミサワホームズ三ノ輪 2階
一般財団法人製品安全協会　TEL（03)-5808-3300

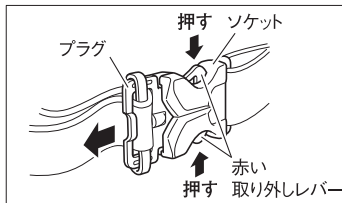
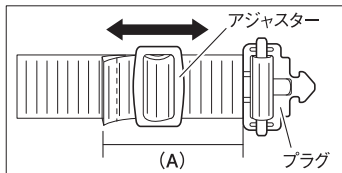
■ あごひもの留めかた

①ワンタッチバックルのプラグとソケットの裏表を確認します。

②プラグをソケットに「カチッ」と音がするまで差し込みます。

⚠警 告

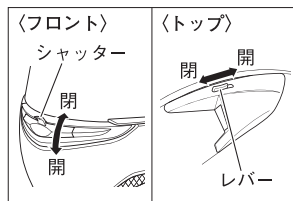
あごひもは確実に留めてください。留められていないと、万一転倒したときにヘルメットが脱げてしまい、重大なけがにつながる恐れがあります。

■ あごひもの外しかたと調節

●あごひもの取り外し
ソケットの赤い取り外しレバーを指ではさむように押し、プラグを引き抜きます。

アジャスター
(A)
プラグ

●あごひもの調節
プラグ部のあごひもを緩め、アジャスターをスライドさせて（A）の長さを調節します。

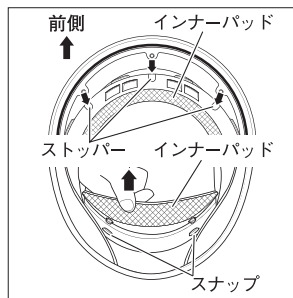
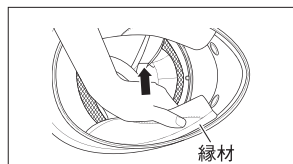
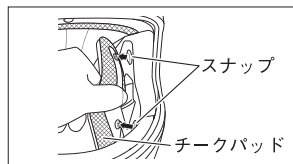
⚠警 告

- **走行前にあごひもを引っ張り、確実に固定されているか確認してください。固定されていないと、万一転倒したときにヘルメットが脱げてしまい、重大なけがにつながる恐れがあります。**
- **走行中にあごひもの脱着や調節をしないでください。運転の妨げになり、思わぬ事故につながる恐れがあります。**

■ フロント/トップベンチレーションの開閉

開けるときは、フロントはシャッターを下に、トップはレバーを後ろ側にスライドさせます。閉めるときは、フロントはシャッターを上に、トップはレバーを前側にスライドさせます。

注 意

開閉方向以外の向きに無理な力をかけないでください。ベンチレーションが破損する恐れがあります。

■ 内装の取り外し（1/2）

内装を清潔に保つために、チークパッド・インナーパッド・チンカーテンは取り外して洗うことができます。

●チークパッドの取り外し

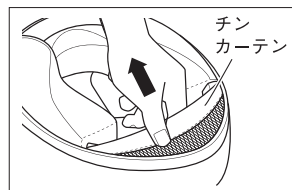
①ヘルメットを押さえながらチークパッドのスナップを3ヶ所外します。

②チークパッドの縁材を抜き取ります。

③チークパッドの孔からあごひもを抜き取ります。

●インナーパッドの取り外し

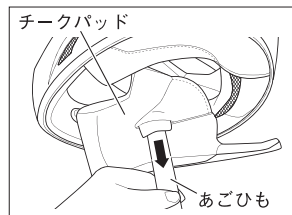
前側のストッパー（3ヶ所）と後側のスナップ（2ヶ所）を外し、インナーパッドをヘルメット本体内部から抜き取ります。

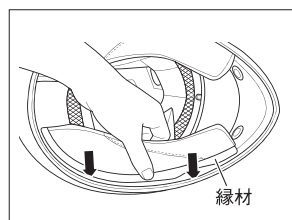
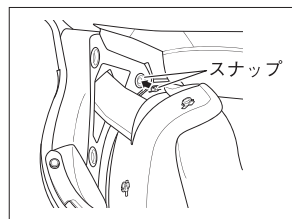
■ 内装の取り外し（2/2）

●チンカーテンの取り外し

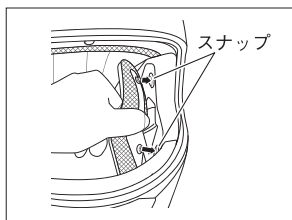
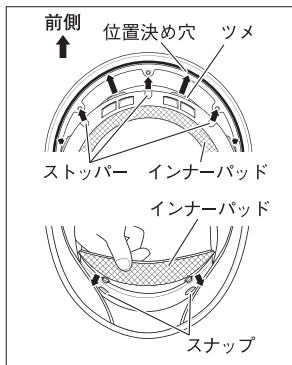
チンカーテンの中央を持ち、ゆっくり縁材を抜き取ります。

要 点

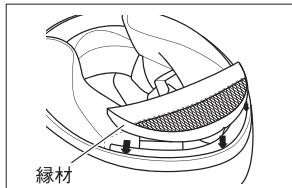
内装を洗うときは、薄めた中性洗剤で押し洗いし、陰干しをします。

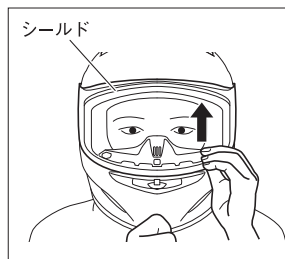
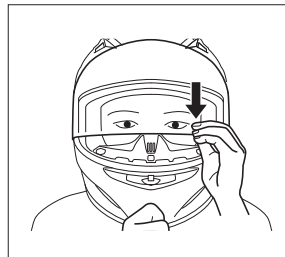
■ 内装の取り付け（1/2）

●チークパッドの取り付け

①左右いずれのチークパッドか確認し、チークパッドの孔にあごひもを通します。

②縁材をシェルとライナーの間に差し込みます。

③チークパッドの一番奥にあるスナップを合わせ、「パチン」と音がするまで押さえ付けます。

■ 内装の取り付け（2/2）

④残りの2ヶ所のスナップを合わせ、「パチン」と音がするまで押さえ付けます。

●インナーパッドの取り付け
①インナーパッドの前後を確認し、ヘルメット本体内部に入れます。

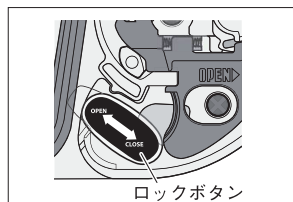
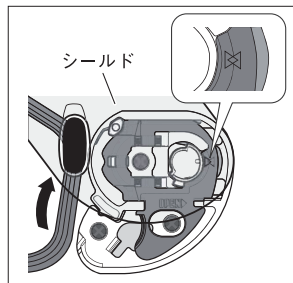
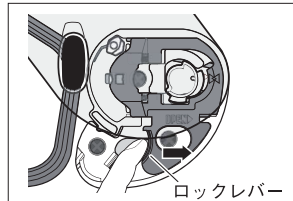
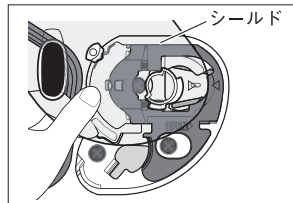
②前側のインナーパッドは、縁材のツメ（4ヶ所）をヘルメットの位置決め穴に差し込み、ストッパー（3ヶ所）を「パチン」と音がするまで押さえ付けます。

③後側のインナーパッドは、スナップ（2ヶ所）を合わせ、「パチン」と音がするまで押さえ付けます。

●チンカーテンの取り付け
①チンカーテンとヘルメットの中心を揃えます。
②縁材をシェルとライナーの間に、奥まで差し込みます。

■ シールドの開閉

●シールドの開けかた
シールドの左側にあるツメに指をかけ、上に押し上げます。

●シールドの閉めかた
シールドの左側にあるツメを持ち、「カチッ」と音がするまで下げます。

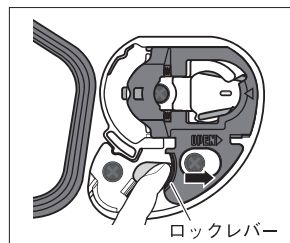
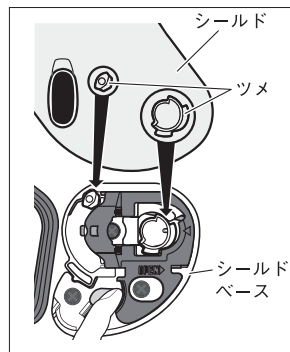
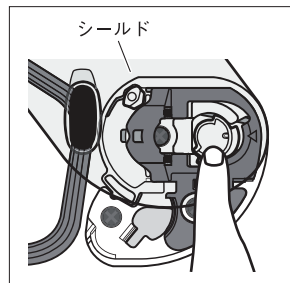
要　点

走行中はシールドを閉めることをお勧めします。シールドを完全に閉めないで走行すると、風圧でシールドが開いてしまうことがあります。

■ シールドの取り外し

シールドは取り外して清掃することができます。
①ロックボタンの「OPEN」側を押します。

②シールドを全開位置まで開きます。
矢印の位置が合っていることを確認してください。（吹き出し参照）

③ロックレバーを後側にスライドさせたまま保持します。

④シールドを垂直に持ち上げて取り外します。反対側も同じように取り外します。

注 意

ロックレバーが解除されていない状態で無理にシールドを取り外すと破損する恐れがあります。ロックレバーはいっぱいまでスライドさせてください。

■ シールドの組付方法

①ロックレバーを後側にスライドさせたまま保持します。

②シールドのツメをシールドベースの穴にはめます。
③ロックレバーを離してシールドをロックします。

④シールドのツメ部分を押さえ付け、ツメを奥まで押し込みます。
⑤シールドを繰り返し開閉し、確実に取り付けられているか確認します。

⚠警 告

ツメがシールドベースにはまっていないと、走行中にシールドが外れ、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
シールド取り付け後は、シールドの開閉作業を数回繰り返し、ツメが確実にはまっていることを確認してください。

■ サンバイザーの取り扱い（1/2）

⚠ 警 告

- サンバイザーにはシールド機能はありません。シールドを開けて、サンバイザーのみでの走行はしないでください。サンバイザーが割れ、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中にサンバイザーを持って操作しないでください。サンバイザーが外れ、思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 夜間、トンネル走行時、雨天時はサンバイザーを使用しないでください。視界不良により思わぬ事故につながる恐れがあります。
- サングラスやスモーク・オレンジ・ミラー加工等を施したシールドと併用しないでください。視界が暗くなり思わぬ事故につながる恐れがあります。

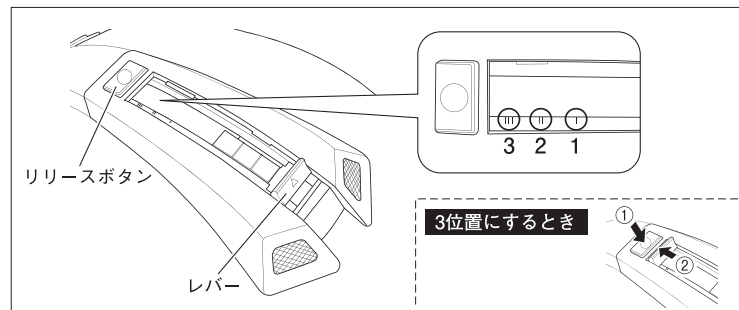
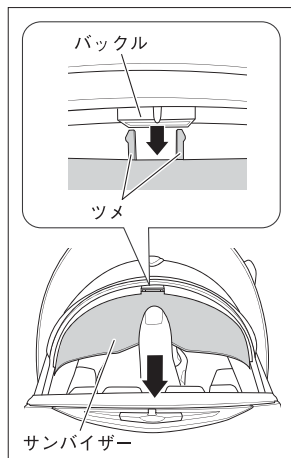
注 意

サンバイザーを持って位置の調節をしないでください。サンバイザー機構が破損する恐れがあります。ヘルメット上部にあるレバーとリリースボタンを使用してください。

■ サンバイザーの取り扱い（2/2）

レバーをスライドさせてサンバイザーの位置を3段階に調節できます。

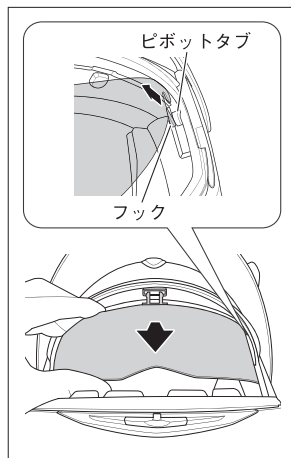
1位置（標準位置）：前傾姿勢で乗車する場合（スポーツバイク）や鼻付近を開けておきたい場合に適しています。
2位置（低め位置）：比較的体を起こした姿勢で乗車する場合（クルーザーやツーリングバイク）に適しています。
3位置（取外位置）：サンバイザーを外したり交換するときの位置です。3位置にするには①リリースボタンを押しながら②レバーをスライドさせます。

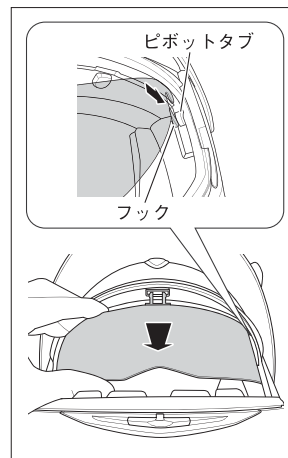
サンバイザーを収納するときはリリースボタンを押します。

■ サンバイザーの取り外し

サンバイザーは取り外して清掃することができます。

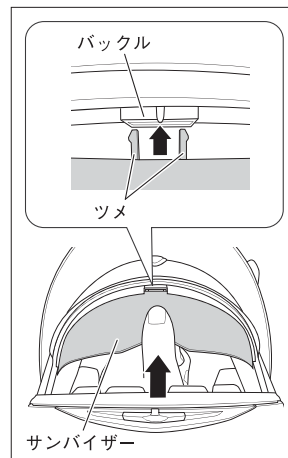
①レバーを3位置にスライドさせます。（P.13参照）

②サンバイザーの中央を持ち、バックルからツメをまっすぐ引き抜きます。

注 意

引き抜くときは少しずつ力を加えて慎重に作業してください。瞬間的に強い力で引き抜くとツメが破損する恐れがあります。

③サンバイザーの両側にあるフックをピボットタブから引き抜きます。

■ サンバイザーの取り付け

①レバーを3位置にスライドさせます。（P.13参照）

②サンバイザーの両側にあるフックをピボットタブに引っ掛けます。

③サンバイザーの中央を持ち、ツメをバックルにまっすぐ差し込みます。

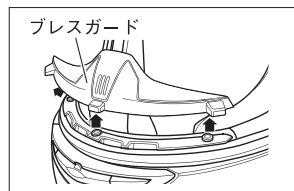
④サンバイザーを動かして確実に取り付いていることを確認します。

⚠警 告

サンバイザーが正しく取り付けられていないと、走行中にサンバイザーが外れ、思わぬ事故につながる恐れがあります。
サンバイザー取り付け後は、開閉作業を数回繰り返し、フック及びツメが確実にはまっていることを確認してください。

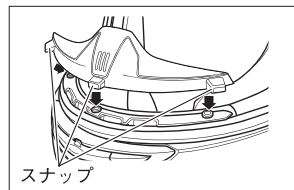
注 意

サンバイザーに指紋などの汚れがついたときは、湿らせたやわらかい布でやさしくふいてください。

■ ブレスガードの取り外し

ブレスガードは取り外して清掃することができます。
ブレスガードをつまんで引き抜きます。

要　点

ブレスガードを洗うときは、薄めた中性洗剤を使用し、柔らかい布でふき取ってください。

■ ブレスガードの取り付け

ブレスガードとフロントベンチレーションの上のスナップ（3ヶ所）を合わせ、「パチン」と音がするまで押さえ付けます。

発売元　株式会社ワイズギア

〒432-8058　静岡県浜松市南区新橋町1103

[商品のお問い合わせ窓口]　TEL 0570-050814（ゴーワイズ）

月曜～金曜（弊社所定の休日を除く）
9:00～12:00　13:00～17:30
◎一般の固定電話の場合、全国一律市内電話料でご利用いただけます。
◎IP電話や電話機の設定によってはご利用いただけません。

輸入元　ヤマハ発動機株式会社 部品事業部
静岡県袋井市久能3001-8

製造元　HONGJIN (BEIJING) SPORTS GOODS CO, . LTD
95, SHALING-SECTION, SHUNPING-ROAD,YANGZHEN, SHUNYI, BEIJING, P. R. CHINA

Made in China

2013.09